

ゴミのないキレイなまちへ

桜丘小学校6年野見山 藤野

1. 提案のきっかけ

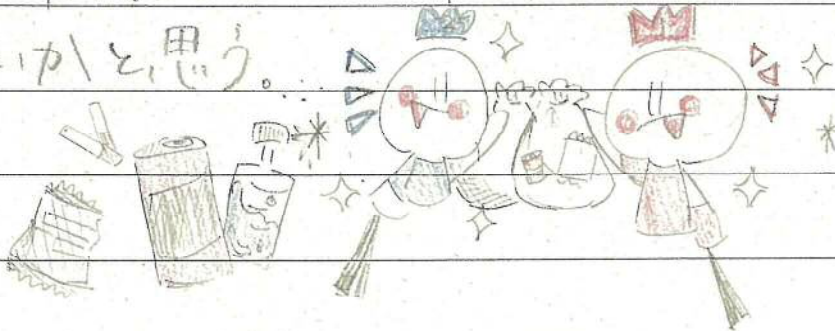
教室と公園に行くときよくビニールぶくろやペットボトルが落ちている。ゴミ箱はあるのにそこに捨てていない。私はポイ捨てがなくなるには何をすればいいか考えた。それが今回の提案のきっかけとなった。またインターネットで調べたところ条例等の施行による課題で「ポイ捨ての根絶」が一番大きな課題で700件をこえていた。そこで私たちは2つの提案をする

2. 提案

(1) ゴミ拾いのイベントを開く。

ゴミ拾いのイベントを開くことで、環境にもよいし、地域の方々と一緒に楽しみながらゴミ拾いをするのができる。

大会のように何チームかに分けて、一番多くのゴミを集めることのできるチームが勝ちという方式で、川原立をつけるやり方もいいのではないかと思います。



(2) ゴミ箱を工夫する

たとえば「重た物の口の所がゴミを捨てる入口になっている」「1つゴミを捨てるポイントかたまる、なと子どもや大人が楽しめるゴミ箱だとポイント捨てが減ると考える。実際に毎年世界で6兆個のタバコの吸いから生まれ、そのうちの4兆5000億個がポイント捨てされていると言う結果がでている。



写真: 日経X TREND

「吸い殻でX-TRENDに投票? 2つの

目的を1個の仕掛けで解決する

参考



写真: ENCOUNTER編集部

「渋谷センター街でたばこのポイント捨て9割減のせ」参考

3. まとめ

このように、ポイント捨てを減らすために、イベントを開いたり、ゴミ箱を工夫するというやり方で環境もよくなり楽しみながらゴミを減らすことができる。と考える。